

## 第2章 事後調査の実施に関する事項

## 第2章 事後調査の実施に関する事項

### 2.1 事後調査の考え方

事後調査とは、環境影響が予測されるとして調査・予測・評価を行った環境影響評価項目に対して、予測・評価の不確実性を補い、環境保全のための措置等の適正な履行状況を確認することを目的とし、計画地及びその周辺地域の環境調査、施設の状況調査等を実施するものです。横浜市環境影響評価条例第2条第7号では、「対象事業に係る工事の着手後に当該対象事業が及ぼす環境影響を把握するために行う調査をいう。」と定められています。

事後調査は、環境影響評価において環境に及ぼす影響が比較的大きいと想定された環境影響評価項目、並びに予測・評価において不確実性が大きい環境影響評価項目を対象として行います。

### 2.2 事後調査項目の選定（供用後）

評価書に記載した、供用後の事後調査項目として選定した理由、並びに選定しなかった理由は、表 2.2-1 に示すとおりです。

供用後においては、風害、地域社会、景観の事後調査を実施します。

### 2.3 事後調査の工程（供用後）

供用後の事後調査の実施時期及び事後調査結果報告書を提出する時期を示した工程は、表 2.3-1 に示すとおりです。

### 2.4 事後調査の内容（供用後）

供用後に実施する事後調査の調査項目、調査時期、調査位置等は、表 2.4-1 及び図 2.4-1 に示すとおりです。また、供用後に実施状況を確認する環境保全措置は、表 2.4-2 に示すとおりです。

表 2.2-1 事後調査項目の選定・非選定の理由

時期	環境項目	環境影響要因	選定・非選定	選定・非選定の理由
供 用 後	大気汚染	建築物の利用	×	設備機器の稼働に伴う大気汚染の影響の程度は小さく、周辺的生活環境に著しい影響を及ぼさないと考えるため、選定しません。
		駐車場の利用	×	駐車場の利用に伴う大気汚染の影響の程度は小さく、周辺的生活環境に著しい影響を及ぼさないと考えるため、選定しません。
		関係車両の走行	×	関係車両の走行に伴う大気汚染の影響の程度は小さく、周辺的生活環境に著しい影響を及ぼさないと考えるため、選定しません。
	騒音	建築物の利用	×	設備機器の稼働に伴う騒音の影響の程度は小さく、周辺的生活環境に著しい影響を及ぼさないと考えるため、選定しません。
		駐車場の利用	×	駐車場の利用に伴う騒音の影響の程度は小さく、周辺的生活環境に著しい影響を及ぼさないと考えるため、選定しません。
		関係車両の走行	×	関係車両の走行に伴う騒音の影響の程度は小さく、周辺的生活環境に著しい影響を及ぼさないと考えるため、選定しません。
	振動	関係車両の走行	×	関係車両の走行に伴う振動の影響の程度は小さく、周辺的生活環境に著しい影響を及ぼさないと考えるため、選定しません。
	電波障害	建築物の存在	×	本事業に起因するテレビ電波受信障害に対しては、必要に応じて適切な対策を行うため、選定しません。
	日照障害	建築物の存在	×	公共性の高い施設における日影時間は短時間であり、本事業による日影が居住環境に著しい影響を及ぼさないと考えるため、選定しません。
	風害	建築物の存在	○	予測の不確実性の補完及び環境保全措置の実施状況を把握するため選定します。
	廃棄物・発生土	建築物の利用	×	廃棄物等の適正な処理・処分が行われると考えるため、選定しません。
	地域社会	建築物の利用	×	計画建築物を利用する歩行者による交通混雑の影響の程度は小さく、周辺交通に著しい影響を及ぼさないと考えるため、選定しません。
		関係車両の走行	○	予測の不確実性の補完及び環境保全措置の実施状況を把握するため選定します。
景観	建築物の存在	○	周辺景観との調和を著しく損なうことなく、圧迫感を著しく生じさせないことを確認するため、選定します。	

注) ○：選定します。 ×：選定しません。

表 2.3-1 事後調査工程表（供用後）

	年		令和2年(2020年)										令和3年(2021年)													
	月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
事後調査 (供用後)	風害	風向・風速	← 竣工後1年間連続 →																							
		環境保全措置の実施状況	● 竣工後の適宜																							
地域 社会		関係車両台数	● 竣工後の定常時																							
		環境保全措置の実施状況	● 竣工後の定常時																							
景観		主要な眺望地点からの景観、 圧迫感の変化	● 竣工後の夏季～秋季																							
		環境保全措置の実施状況	● 竣工後の夏季～秋季																							
事後調査結果報告書(供用後)の提出																								○		

注1) ←→ は、調査の実施期間を示します。  
 注2) ●(丸印)は、調査の実施時期を示します。  
 注3) …… は、調査結果及び事後調査結果報告書のとりまとめ期間等を示します。

表 2.4-1 事後調査の内容（供用後）

環境項目	調査項目	調査頻度	調査時期(予定)	調査位置	調査方法
風害	風向・風速	1年間連続	竣工後 (令和2年5月～ 令和3年4月)	駅前棟及び 鶴屋町地区 各1地点 (図2.4-1参照)	現地調査 (風向・風速計 による測定)
	環境保全措置の 実施状況	適宜	竣工後の適宜 (令和2年5月)	計画地内	現地確認及び 関連資料の整理
地域 社会	関係車両台数	1回 (平日・休日 各1回)  ・関係車両出入 交通量:24時間 ・交差点等自動車 交通量:24時間	竣工後の定常時 (令和2年10月)	・関係車両出入口 3箇所 ・交差点等8箇所 (図2.4-1参照)	現地調査  ＜関係車両出入交通量＞ ・車種別方向別自動車交通量 ＜交差点等自動車交通量＞ ・車種別方向別自動車交通量 ・交差点需要率(信号制御交差点) または混雑度(一時停止制御交差点)
	環境保全措置の 実施状況	適宜			計画地内
景観	主要な眺望地点からの 景観、圧迫感の変化	1回	竣工後の 夏季～秋季 (令和2年8月～ 令和2年9月)	8地点* (図2.4-1参照)	現地調査 (写真撮影)
	環境保全措置の 実施状況	適宜			計画地内

※：評価書に記載したとおり、中景～近景の地点(駅前棟の中心から半径約500m内の眺望地点)、並びに方法意見書により追加した地点とします(地点9、地点13～19)。

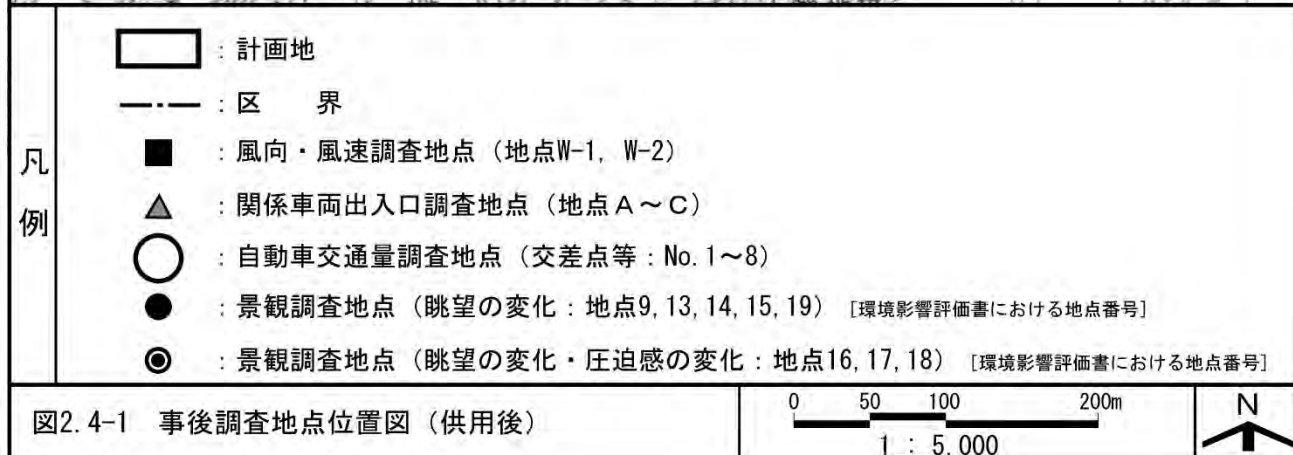


表 2.4-2 事後調査として実施状況を確認する環境保全措置（供用後）

環境項目	区分	調査項目（環境保全措置）
風 害	建築物の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>卓越風向である北寄りあるいは南寄りの風を極力遮らない形状として、超高層棟を配置しビル風による影響を低減します。</li> <li>超高層棟の駅前棟には基壇部を設けることにより、超高層棟から吹き降ろすビル風による影響を低減します。</li> </ul>
地域社会	関係車両の走行に伴う交通混雑の程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場については十分な台数を確保するとともに、駐車場内に十分なゲート（発券機）と滞留スペースを確保し、入庫車両が横浜市主要地方道 83 号青木浅間線（環状 1 号線）にあふれることが無いような計画とし、極力地域の周辺生活環境への影響が小さくなるように配慮します。</li> </ul>
	関係車両の走行に伴う交通安全への影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>敷地内の歩行者の安全確保、バリアフリーについて配慮します。</li> <li>駐車場の出入口にはミラーを設置するなどの交通事故防止のための措置を講じます。</li> <li>本計画建築物の利用者に対し、計画地へのアクセスルートの周知、徹底を図ります。</li> </ul>
景 観	建築物の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>建物配置や形状等について、周辺景観との調和や圧迫感による影響を少なくするよう配慮します。</li> <li>駅前棟においては、開放的でゲートとして視認性のあるアトリウム空間の演出により、圧迫感の低減に努めます。*</li> <li>駅前広場に面した外壁については高層部・基壇部・低層部の高さを意識したデザイン上の分節を検討するなど、今後の詳細検討の中で、色彩や外壁材、デザイン等の工夫を行うことにより、圧迫感の低減に努めます。</li> <li>「エキサイトよこはま 22（横浜駅周辺大改造計画）」における景観形成の考え方を踏まえて、横浜の玄関口にふさわしい都市景観の創造に努めます。</li> <li>「横浜市魅力ある都市景観の創造に関する条例」や「横浜市景観ビジョン」、「横浜市景観計画」、「西区まちづくり方針（横浜市都市計画マスタープラン・西区プラン）」等を踏まえて魅力ある都市景観の創造に努めます。</li> </ul>

※：「計画の修正に伴う評価書との比較資料」（平成 26 年 2 月）において、評価書時点から一部修正しました。

本書に掲載した地図の作成にあたっては、国土地理院発行の1/10,000の地形図（三ツ沢、新子安、保土ヶ谷、関内）を使用しています。